

授業科目

疾病・病態学総論

担当教員名 鈴木 力	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

あらゆる医療の対象となる「ヒト」について学ぶ。ヒトの体の恒常性維持機構とその破綻による病態、侵襲と生体反応、バイタルサインとバイタルサイン（生命徴候）の重要性、所見の観察・評価等について学習する。また、救急救命学を学ぶために必要な科学的思考の重要性、生命倫理・医の倫理についても理解する。

本科目は、これから学ぶすべての医学・医療に関する学問を理解するための基盤となる思考を形成するものである。

授業の目的

1. 人間とは何か？人の身体、心とは何か？また、身体と心の相互関係などあらゆる医療の対象となる「ヒト」についての基本的事項を理解する／基本的事項について考える。
2. 救急救命学を学ぶために必要な科学的思考の重要性と科学的思考を行うための基本的事項を理解する。
3. 生命倫理、医の倫理について理解する／考える。

学習目標

1. 人間とは何か？人の身体、心とは何か？また、身体と心の相互関係などあらゆる医療の対象となる「ヒト」についての基本的事項を理解する。
2. 救急救命学を学ぶために必要な科学的思考の重要性と科学的思考を行うための基本的事項を理解する。
3. 生命倫理、医の倫理について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人間と人間生活（1）	講義	鈴木 力
2	人間と人間生活（2）	講義	鈴木 力
3	人間と人間生活（3）	講義	鈴木 力
4	人間と人間生活（4）	講義	鈴木 力
5	人間と人間生活（5）	講義	鈴木 力
6	科学的思考の基礎（1）	講義	鈴木 力
7	科学的思考の基礎（2）	講義	鈴木 力
8	科学的思考の基礎（3）	講義	鈴木 力
9	科学的思考の基礎（4）	講義	鈴木 力
10	生命倫理と医の倫理（1）	講義	鈴木 力
11	生命倫理と医の倫理（2）	講義	鈴木 力
12	生命倫理と医の倫理（3）	講義	鈴木 力
13	生命倫理と医の倫理（4）	講義	鈴木 力
14	生命倫理と医の倫理（5）	講義	鈴木 力
15	まとめ	講義	鈴木 力

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

水曜日12時～13時。その他、連絡していただければ、適宜時間を調整します。

E-mail : tsutomu-suzuki@nuhw.ac.jp